

枕崎市

② 「かつおと焼酎」食と文化の祭典 日本一の鰹節(カツオ)と本格焼酎のまち～味のコラボレーション～

枕崎市のカツオ漁とかつお節製造業は300年以上の歴史があり、かつお節生産量日本一を誇ります。

また、本市は鹿児島県内で焼酎の生産量・販売量ともに上位を占める日本有数の焼酎蔵を有する町でもあります。

これらの産業にまつわる食をはじめとする歴史や風土等、様々な文化があり、いずれも本県を代表する食の産業文化となっています。

メイン会場である南薩地域地場産業振興センターでは、鰹をテーマとした講演会や食に関する催し、劇団「ぶえん」による公演など多彩なイベントを計画しています。

サブ会場の薩摩酒造「明治蔵」では、「新酒祭り」を開催します。

その他、アートストリートウォーキングツアーや、南溟館では収蔵品による「風の芸術展 入賞作品展」を開催します。

・日時:10/31(土)17:00～19:00 11/1(日)10:00～17:00

・会場:南薩地域地場産業振興センター
薩摩酒造「明治蔵」
枕崎市文化資料センター南溟館



第30回国民文化祭枕崎市実行委員会事務局(枕崎市教育委員会文化課内)
☎0993-72-9998
ホームページ <http://www.city.makurazaki.kagoshima.jp/>

▶地域で文化活動に取り組んでいらっしゃる皆さん

劇団「ぶえん」副団長 井上 昌己さん

枕崎市の劇団「ぶえん」は、「枕崎から演劇の風を起こそう」と枕崎市民手作りの劇団として、平成13年に結成されました。

劇団の特色は、方言(枕崎弁)を使って、地域に根ざした芝居をすることで、年齢も職業も様々な20名あまりの劇団員が、役者としてスタッフとして活躍しています。

方言には、標準語で置き換えられない微妙な意味、その土地土地の文化が含まれており、劇団の活動を通じて、皆さまにお伝えできればと思っています。



国民文化祭においては、枕崎市に昔から伝わる「山彦海彦伝説」(火之神の伝説)を題材として演じようと構想を練っています。

九州の南のすんくじら(端っこ)枕崎は、海を望む絶景や今回御紹介する「かつお」、「焼酎」などの海幸・山幸も豊富に揃っています。

皆さまぜひ、枕崎市の国民文化祭にお越しください。